

保護者の方へのオプトアウト説明書
【16歳以上の未成年者ご本人から同意を得る場合】

この研究では、16歳以上の未成年の方ご本人からご協力の同意をいただいた上で、研究への参加をお願いすることがあります。16歳以上の方は、自分の考えで物事を判断できる力があるとされており、ご本人が納得して研究に参加するかどうかを決めることができます。ご本人が研究への参加に同意された場合でも、保護者の方が「参加してほしくない」とお考えの場合には、下記の連絡先までご連絡ください。このように保護者の方が反対の意思をお伝えできる仕組みを「オプトアウト」と言います。

1. 研究の概要

1) 研究課題

活動制限の小児患者に向けた2面投影のディストラクションによるストレス軽減効果の検討

2) 研究期間

実施許可日～2026年12月31日

3) 研究の対象

群馬大学医学部附属病院で小児科に入院している3歳頃～18歳までの患者さん

4) 利用する試料・情報の種類

唾液・アンケート・撮影動画

5) 試料・情報の管理について責任を有する者

旭川医科大学 学長 西川 祐司

6) 外部への試料・情報提供

多施設共同研究では、群馬大学を情報の提供元として、研究により得られた情報はノートパソコンで電子化された後に、旭川医科大学へ提供されます。その利用と提供予定日は研究期間内になります。

7) 研究の意義・目的

入院中の患者さんたちは、日常の活動制限によって心身や社会性の発達に望ましくない影響を受け、不安や怒りといったストレスから自分自身を大切に思う気持ちが傷つく可能性があるといわれています。このような活動制限によってストレスを抱える患者さんたちには、日常生活を支える看護の役割が強調されています。

この研究は、患者さんが病院で過ごしながらかの外にいるかのような体験をすることで、活動制限によるストレスを軽減する効果が期待されています。また、入院中の

患者さんたちの日常生活で、心身や社会性の発達を促進するための課題解決に近づける働きかけとして重要な意義があります。この研究では、活動制限のある入院中のお子さんの唾液を採取して、感情的な動きの変化を見ながら、2面投影のストレス軽減効果を検討します。

8) 研究の方法

2面投影の映像を10分間ご視聴していただき、その前後で唾液の採取とアンケートに回答します。また、ご視聴後には、年齢や診療科、疾患名、入院回数、入院目的、治療内容、活動制限などについてお書きいただきます。

2. 研究組織

1) 研究代表機関：旭川医科大学

研究代表者：看護学講座・准教授・荻原弘幸

2) 共同研究機関

機関名：群馬大学

研究責任者：情報学部・教授・奥寛雅

研究分担者：医学系研究科小児科学分野・教授・滝沢琢己

研究分担者：医学系研究科小児科学分野・助教（病棟医長）・西田豊

研究分担者：医学部附属病院北3階病棟・看護師長・荻沼明美

研究分担者：医学部附属病院北3階病棟・保育士・山田治美

研究分担者：情報学研究科・大学院生・木村陸希

研究分担者：情報学部・学部生・菅原心暖

研究分担者：情報学部・学部生・長澤昇馬

3. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。

試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究代表者

所属・職名：旭川医科大学医学看護学科・准教授

氏名：荻原弘幸

住所：旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号

電話：0166-68-2936

研究責任者

所属・職名：群馬大学情報学部・教授

氏名：奥寛雅

住所：群馬県前橋市荒牧町4-2

電話：027-220-7411